

永覚新町商店街振興組合(豊田市) 【代表者:理事長 松永郁也】

キャッチフレーズ

気配りある安心して暮らせる街で、永覚新町の面白生活始まる！

活性化モデル商店街としてのモデル性

快適なまちづくりを実現するため、逸品商品づくりを起爆剤にして商店街から新たな魅力を引き出し、地域に賑わいをもたらそうとする生活支援型商店街

商店街の将来ビジョン

永覚新町商店街は、昭和45年頃よりトヨタ自動車㈱の社宅として永覚団地が形成されて以来店舗が増え、平成6年に振興組合が発足し現在に至るが、発足当時は60店あった組合数も平成19年には37店にまで減少している。

こうしたなか、魅力ある商店を増やすことが商店街の活性化に繋がるとの方針のもと、これまでのイベント(ふれあい夏祭り、歳末感謝まつり)だけにとどまらず、個店の魅力を引き出す事業や地域住民の購買意欲を引き出す商品の提案を行っていく。

1 「逸品商品づくり」で“商店街の魅力アップ”

個店の魅力が薄れてきていることを商店街衰退の要因の一つととらえ、商店街各店舗がオリジナルな逸品商品づくりを行い、魅力ある商品を揃えた商店街であることを情報発信する。来街者にここが逸品商品参加店だと分かるように PR チラシ、のぼり等で案内し、商店街イベントである手づくり市やふれあい夏まつり等でも PR していく。

2 賑わい創出イベント「手づくり市」を企画

モノづくりの豊田らしく、参加者が自分の趣味であるクラフトやアート作品の展示・実演・販売を行う「手づくり市」を商店街内で開催する。

3 「高齢者及び子育て支援など」で地域貢献

昨年、“高齢者に優しい商店街”を目指してAEDを設置したが、高齢者のみならず、働く主婦の子育て支援などもあわせて地域へ貢献する事業を行う。

具体的に取組む事業内容

逸品商品開発事業 (20年度～22年度)

商店街内に逸品委員会を組織し、委員会で選りすぐりの逸品商品进行评估して認定商品の情報発信を行う。

手づくり市 (20年度～22年度)

「自ら手づくりしたモノ」を自ら販売することを希望するものを募り、モノづくりの豊田らしさを演出する新イベント「手づくり市」を開催する。

ふれあい夏まつり (20年度～22年度)

商店街の通りで露店、音楽演奏やパフォーマンスなど地元住民のためのふるさとまつりを開催する。

歳末感謝まつり (20年度～22年度)

イルミネーションで商店街を装飾し、商店街の通りの賑わいと消費者の購買意欲の向上を図る。